



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和8年1月26日

我孫子市小中一貫教育だより
第405号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

こほく・あらき ふれあいプロジェクト～湖北中・3年「認知症サポーター養成講座」

湖北中学校3年生がオリジナルカリキュラムの一環で「認知症サポーター養成講座」を受講しました。湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室や福祉施設から講師の先生を4名お招きし、認知症について学び、地域や社会で認知症サポーターとしてどのように手を差し伸べることができなのか、実演や話し合いを通して考える機会となりました。

「5年後の日本の社会は約800万人の認知症患者がいることになっていわれています。」と聞くと、生徒たちは驚きを隠せませんでした。そして、自分たちが成人になるころの日本の社会の様子を知り、より自分ごととして考え始めました。どうしたら、認知症の方をサポートできるのか。

地域社会でできることは何なのか。身近な社会課題としてクラス全体で話し合いました。

自分たちができることを具体的に考え意見を出し合えたことで、地域における自分の役割が明確になり認知症に対する理解と共に、生徒たちの間で優しさをもって接することなどが話題になっていたことが印象的な講座でした。湖北中区の「こほく・あらきふれあいプロジェクト」9年間の学びの締めくくりは、高齢化社会を支える担い手として主体的に自分の役割を考える機会となりました。



湖北台未来へつなぐプロジェクト～東小・2年「町たんけん発表会」

湖北台東小学校2年生が、オリジナルカリキュラムの一環で生活科の授業を行いました。『町の「すてき」を伝えよう』のめあてのもとで、町たんけんで行ったところをクラスのみんなに紹介する時間でした。

事前に Google スライドで写真付きの資料を準備しており、テレビ画面に映した写真と共に行った先でインタビューした内容と感想をクラスの前で発表しました。湖北台地区の町たんけんでは、駅・銀行・中学校・お弁当屋さん・保育園・お花屋さん・ケーキ屋さん・美容室など地域のお店を中心に訪問しました。

ケーキ屋さんでインタビューした児童は「忙しい時は12月のクリスマス時期です。どれもおいしそうなケーキが並んでいました。」とショーケースのケーキの写真を提示しながら発表しました。お弁当屋さんでインタビューした児童は「冷蔵庫には9個タイマーがありました。同時にいろいろな調理をするからです。とてもいいにおいがしました。」と実際に訪問先で見て質問したことを感じたこと発表しました。

1月に湖北台西小学校の2年生とお互いの発表を交換して見せ合う発表会を開催するそうです。小小交流の一環としてとても有効的な取り組みです。

